

タケダ・ウェルビーイング・プログラム 2013 助成の概要と推薦理由

助成番号 13-2-5

プロジェクト名 あそびかた研究会～長期入院・在宅療養している
子ども達ときょうだいのあそびかたを学ぶ～(2)
団体名 一般社団法人こどものホスピスプロジェクト
代表者名 高場 秀樹
所在地 大阪府
助成額 250 円
助成期間 2014 年 1 月 1 日～2014 年 12 月 31 日
設立年 2010 年
U R L <http://www.childrenshospice.jp>



この団体は、こどものホスピスの活動の日本における普及をめざした取り組みを行っているが、病気の子どもたちに関わるボランティアや保育士、看護師、医師などから、病院や在宅における重い病状の子どもたちとそのきょうだいの遊びを学ぶ機会が求められていたことから、助成 1 年目では協力団体とともに「あそびかた研究会」を立ち上げ、連続講座の開催を通じて、関係者が知識や経験を共有して互いに学びあい、その後の日々の活動に生かした。また関心のある人（学生を含む）も参加対象とすることにより、ともに学ぶことを通じて理解と支援を広げることも目指し、新たな協力者の獲得にもつながった。講座には 11 回でのべ約 400 人が参加するなど、大きな成果を上げた。

今回の助成では、引き続き講座開催を通じて、あそびかたを学ぶとともにネットワークを広げ、病気をもつ子どもときょうだいのための遊びをさらに深める。今回は新たに公開の「あそびかたフェスタ（仮）」を開催し、より広い参加を目指す。同時に、1 年目で学んだあそびの成果を子どもたちにも還元できるよう、当日は病気をもつ子どもたちやそのきょうだい・家族の参加も呼び掛ける予定である。

病院内における「遊び」は、ボランティア・グループやアーティストの協力などにより徐々に広がりを見せているが、自宅で長期療養を行う子どもたちへの支援はこれからである。病院における活動とともに、在宅療養児の支援のためにも、病院内で活動するボランティア・グループが退院後も引き続き地域に出向いて支援をしたり、地域の子育て系 NPO などが活動の幅を広げて支援に取り組むなどの方向が生まれることを期待して助成した。